

適用規格						
定格	使用温度範囲	-40℃ ~ +90℃ (95%RH MAX)	保存温度範囲	-40℃ ~ +90℃ (95%RH MAX)		
	電力	— W		特性インピーダンス	50Ω (0 ~ 6 GHz)	
	特殊性	—		適合ケーブル	φ0.81ケーブル	
性能						
	項目	試験方法	規格		QT	AT
構造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。		○	○
	表示	目視にて確認する。			—	—
電氣的性能	接触抵抗	100 mA (DC OR 1000 Hz) 以下で測定する。	中心コネクタ	4 mΩ以下	○	○
			外部コネクタ	4 mΩ以下	○	○
	絶縁抵抗	DC 100Vで測定する。	500 MΩ以上		○	○
	耐電圧	AC 200Vの電圧を1分間印加する。(漏洩電流2mA以下)	せん絡・絶縁破壊がないこと。		○	○
	電圧定在波比	周波数 0 ~ 6 GHzにて測定する。	VSWR	1.3 以下	○	—
	挿入損失	周波数 ~ GHzにて測定する。	dB以下		—	—
機械的性能	単体挿抜力	の鋼製ピンで測定する。	差込力	N以下	—	—
			引抜力	N以上	—	—
	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。	差込力	N以下	—	—
			引抜力	N以上	—	—
	繰り返し動作	500 回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗: 中心コネクタ 6 mΩ以下 外部コネクタ 6 mΩ以下 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		○	—
	耐振性	周波数 10 ~ 500 Hz, 片振幅 0.75 mm, 加速度 98 m/s ² で 3 軸方向各 10 サイクル 試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 軸方向各 3 回試験する。			○	—
	ケーブルクランプ部の引っ張り強度	30mm/分でケーブル軸をケーブル抜け、断線が発生するまで引っ張り、最大荷重を確認する。	最大荷重 10N以上		○	—
環境的性能	温湿度サイクルの耐湿性	温度 +25 ~ +65 °C, 湿度 90 ~ 98 %中に 10 サイクル(240 時間) 放置する。	① 絶縁抵抗: 10 MΩ以上(高温時) ② 絶縁抵抗: 500 MΩ以上(乾燥時) ③ 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		○	—
	温度サイクル	温度 -40 → — → +90 → — °C 時間 30 → 3 → 30 → 3 分 を 5 サイクル試験する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		○	—
	塩水噴霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。	VSWR 1.3 以下		○	—
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日	
備考				承認	TO. KATAYAMA	18.02.20
				検図	TO. KATAYAMA	18.02.20
				担当	KY. SHIMIZU	18.02.17
				製図	KY. SHIMIZU	18.02.17
注	QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目		図番	SLC-341884-00-00		
HRS	製品規格表		製品名	SMA(R)-200-040PJ2BN		
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL323-0929-1-00	φ	1/1